

2009年(平成21年)7月11日(土曜日)

# 街のうた

「麦わら細工の美しさが認められたのがうれしい。たくさんの人に魅力を知ってもらえる」。NPO法人札幌村文化センター代表理事の土肥信子さん(71)が

声を弾ませた。

美術研究家で民芸運動を提唱した柳宗悦が開設した日本民芸館(東京)。来年1月、ここで土肥さんは子供たちを相手に麦わら細工の教室を開く。25年前

からの同館のファンで、何回も訪れるうちに親しくなった学芸員からの思いもかけない依頼だった。教室では、無農薬の道産小麦のわらを使って、花入れを作るつもりだ。

## 麦わら細工の輝き

土肥さんが麦わら細工と出会ったのは8年ほど前。札幌市内の農業体験で知り合った元農家の女性に教わった。麦わらに含まれるガラス質が、見る角度によっても黄色にキラキラ光る。素朴な美しさに魅了された。それ以来、虫かごや花入れを製作したり、講習会を開いたり、

道内に残る伝統工芸の普及に地道に取り組んできた。

札幌の子供たちに物作りの楽しさを伝えたい、麦わら細工を製品化して、道外の人にも見てもらいたい。土肥さんの夢だ。「少しずつ、かないつつあります」。麦わら以上に輝く笑顔を見せた。

(宇佐美裕次)